

基本目標
I

『自然と多様な人々が共生するまち』

目指す姿

～環境にやさしい暮らしと、多様な人が認め合い・協力し合う地域を創る～

- 本市の豊かな自然は、人々にやすらぎをもたらし、生活に潤いをもたらしてくれます。
- 恵み豊かな自然環境を市全体の共有の財産として次世代に繋げていくために、市民一人ひとりが自然との関わりを深め、自然環境の保全や整備を市民と行政が協力して取組み、水と緑に包まれた魅力ある生活景観の形成による環境と共生したまちづくりを進めます。
- 市民と行政が互いに協力し合って、地球温暖化の防止やごみ排出量の削減、資源物のリサイクル活動を進め、循環型・脱炭素社会の実現を目指します。
- 多様性を認め合い、全ての人々が尊重されるまちを目指します。
- 市民と行政が地域課題の解決に向かい、共に取組むまちの実現を目指します。

基本政策の成果指標

指標名	実績値	目標値	単位

目指す姿を実現する手段

政策	施策	担当課	ページ
1 豊かな自然と共生する 循環型社会の推進	① 豊かな自然の継承・理解の推進	生活環境課	
	② ごみの適正処理と減量・資源化の推進	生活環境課	
2 地球温暖化対策の推進	③ 脱炭素社会の推進	生活環境課	
3 多様性を認め合う 地域づくりの推進	④ 人権尊重・男女共同参画の推進	人権同和政策課	
	⑤ 多文化共生の推進	地域づくり支援室	
4 協働による地域づくりの 推進	⑥ 多様な主体の連携・協働による 地域づくり活動の推進	地域づくり支援室	
	⑦ 充実した市民活動のための支援	地域づくり支援室	

目指す姿

～子どもから高齢者まで、健やかに自分らしく暮らし続けられるようにする～

- 次代を担っていく子どもたちは、本市の希望を託す宝です。安心して子どもを産み育て、健やかに成長できるよう、妊娠期から子育て家庭を支援する環境づくりを推進します。
- 子ども達が自分らしく豊かに生きることができるよう、安全・安心な居心地の良い環境づくりを推進します。
- 子どもの自主性・主体性・自発性を育む保育を推進します。
- 安定した医療が受けられ、生涯にわたって住み慣れた地域で安心して生きがいのある暮らしができるよう、健康づくりや生きがいづくりを推進するとともに、保健・医療・介護・福祉の充実したまちを実現します。
- 安心して自分らしい暮らしができるよう、地域の絆を深め、相互に助け合いながら暮らせる、福祉のまちづくりを推進します。

基本政策の成果指標

指標名	実績値	目標値	単位

目指す姿を実現する手段

政策	施策	担当課	ページ
1 安心して子どもを産み育て、充実した時間を過ごせる環境づくり	⑧ 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の充実	子ども家庭支援課	
	⑨ 子育て・子育てを共に支える地域づくりの推進	子ども家庭支援課	
	⑩ より豊かな保育の実践	保育課	
2 自分らしく、住み慣れた地域で安心していきいき暮らせる環境づくり	⑪ 生涯を通じた健康増進の推進	健康保健課	
	⑫ 介護予防・高齢者の社会参加の推進	福祉課	
	⑬ 地域包括ケアシステムの深化	福祉課	
	⑭ 地域医療体制の充実	市民病院	
3 困難を抱える人への支援や地域の支え合い体制づくり推進	⑮ 支え合う地域福祉づくりの推進	福祉課	
	⑯ 障がい者（児）福祉の充実	福祉課	
	⑰ ひとり親・生活保護・生活困窮世帯等の自立支援と生活の安定	福祉課	

『誰もが学び、自分らしく耀けるまち』

目指す姿

～子どもも大人も、地域資源を活かしながら学び合い・育ち合う～

- 児童生徒自らが健やかに育ち、これからの社会で活躍できるよう、家庭と地域、学校が連携しながら、個性や能力を十分に発揮できる教育環境づくりを推進します。
- 子どもや家庭に寄り添い、子どもの居場所づくりを創出し、個に応じた支援や教育が提供できる環境づくりを推進します。
- 生涯をとおして自分らしく自発的に学び、学びの成果や知識・技術などを、地域やまちづくりなどに活かせるよう、生涯学習機会の提供や活動支援を図るとともに、文化・芸術活動及びスポーツを推進します。また、受け継がれてきた郷土の資源や文化財を適切に保存・活用し、愛着と誇りを持てるまちを目指します。

基本政策の成果指標

指標名	実績値	目標値	単位

目指す姿を実現する手段

政策	施策	担当課	ページ
1 夢を持ちたくましく生きる 子が育つ環境づくり	⑱ 確かな学力、豊かな心、健やかな 身体を育む教育の推進	教育課	
	⑲ 安全・安心な子どもの居場所づくり	教育課	
2 誰もが生涯を通じて学び合 い・実践できる環境づくり	⑳ 人づくり、地域づくりにつながる 生涯学習の推進	生涯学習課	
	㉑ 文化・芸術・スポーツの推進	文化・スポーツ振興課	
	㉒ 文化財の保存と活用	生涯学習課	

『魅力と活力があふれる産業のあるまち』

目指す姿

～暮らしを豊かにする産業を育て、まちの魅力を高める～

- 標高差と特有の気候条件などの地域特性を活かし、農業基盤の整備・保全・活用と農業後継者の確保・育成を図りながら、産業としての農業を維持・拡大させ、里山を含む民有林の適正な管理を行い、持続可能で活気の溢れる明るい農村づくりを推進します。
- 商工業では既存企業の活力向上を促進するとともに、市内勤労者の雇用安定を図ります。
- コロナ禍の影響を受けた観光分野については、地域資源を活かした観光コンテンツを磨き上げ、交流人口や関係人口の拡大並びに地域活性化を図ります。

基本政策の成果指標

指標名	実績値	目標値	単位

目指す姿を実現する手段

政策	施策	担当課	ページ
1 地域の魅力を高める農業の振興	⑳ 農地・里山を含む民有林の保全	農林課	
	㉑ 東御ブランド力の強化と特産品による地域振興	農林課	
	㉒ 農業の担い手の育成・支援と安定的な農業経営の確立	農林課	
2 暮らしを豊かにする商工業の振興	㉓ 商工業の育成とにぎわいの創出	商工観光課	
	㉔ 新規起業家への支援	商工観光課	
3 まちににぎわいをもたらす観光の振興	㉕ 地域資源を活用した着地型観光の推進	商工観光課	
	㉖ 観光客受入環境及び観光施設の整備	商工観光課	

『便利で安心して暮らせるまち』

目指す姿

～便利に暮らすための社会基盤を充実すると共に、いざという時の備えを皆で整える～

- 便利で安心して暮らせるまちの基本となるものは、社会基盤の整備と安全・安心なまちづくりです。
- 身近な道路環境の整備や、公共交通の充実、上下水道などの社会基盤が維持され、良質な住環境が享受できるまちの実現を目指します。
- 大規模な災害による被害を防ぐため、行政が行う公助とともに、共助としての防災・減災対策に加え、市民を主体とする自助としての防災活動に取組み、地域防災力の向上を目指します。
- 地域防犯活動や交通安全対策などを推進するほか、消費生活に関する相談体制を充実させることで市民が安全・安心して暮らせることのできるまちづくりを目指します。

基本政策の成果指標

指標名	実績値	目標値	単位

目指す姿を実現する手段

政策	施策	担当課	ページ
1 都市インフラの維持・充実	③⑩ 安全・快適な道路環境の整備	建設課	
	③⑪ 公共交通の利便性の向上	商工観光課	
	③⑫ 上下水道の維持・管理	上下水道課	
	③⑬ ゆとりある住環境づくりの推進	建設課、企画振興課	
2 災害に強い地域づくりの推進	③⑭ 防災意識の高揚と防災体制の充実	総務課、企画振興課	
	③⑮ 地域消防体制の充実	消防課	
	③⑯ 災害に強い情報インフラの強化	建設課	
3 暮らしの安全の確保	③⑰ 地域防犯活動の推進	生活環境課	
	③⑱ 安心な消費者生活への支援	生活環境課	
	③⑲ 交通安全活動の推進	生活環境課	

『持続可能な選ばれるまち』

目指す姿

～魅力を発信し、共感され、選ばれ続ける～

～行財政経営を時代に合わせて進化させ、市民の利便性を向上させる～

- 合併後20年間の取組みのなかで培ってきた本市の魅力を発信し、認知度の向上や関係人口の拡大および移住・定住を促進させ、選ばれるまちを実現します。
- 市民と共にまちの魅力を再発見していく取組みを通じ、その魅力を市民が認知することで、本市に対する誇りと愛着がもてるまちづくりを推進します。
- 情報化の急速な進展に合わせ、デジタル技術を活用した行政サービスの向上や行政運営の効率化を進め、市民の声に向き合いながら、信頼される行財政経営を推進します。

基本政策の成果指標

指標名	実績値	目標値	単位

目指す姿を実現する手段

政策	施策	担当課	ページ
1 シティプロモーションの推進	④① 地域ブランドの発信	企画振興課	
	④② シビックプライドの醸成	企画振興課	
2 移住・定住の促進	④③ U・I・Jターンと定住の促進	企画振興課	
3 DXによる行政サービスの利便性向上	④④ DXの推進	総務課	
4 市民の信頼に応える行財政経営の推進	④⑤ 効果的で持続可能な行財政経営の推進	総務課	
	④⑥ 市民の声に向き合う広報・広聴活動の充実	企画振興課	
	④⑦ 広域連携による共同事業の促進	企画振興課	

豊かな自然と共生する循環型社会の推進

現状と課題

- まちをきれいにする月間、外来植物駆除活動への参加者が増えている一方で、参加者の高齢化も進んでいます。今後も、市民・事業者・行政が協働で取組んでいけるよう、新たな担い手に理解を広める環境学習を行うとともに、環境保全活動を充実させていくことが求められます。
- 生ごみのリサイクル処理量は増加し、可燃ごみの排出量の削減も進んでいます。更に、市民一人ひとりが再資源化への意識・取組を徹底することで資源循環社会を実現し、環境負荷の低減を進めることが求められます。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育ち	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

① 豊かな自然の継承・理解の推進

豊かで美しい自然を引き継いでいくことができるよう、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を認識し日々の暮らしの中で自然との関わりを深め、親しみ、人と自然が共生するまちを目指します。市民・事業者・行政が協働で環境保全活動に取り組むことにより、市民が愛着や誇りを持って暮らすことのできる美しく快適なまちづくりを進めます。

② ごみの適正処理と減量・資源化の推進

ごみの排出抑制において、全国トップクラスであるごみの分別を、市民・事業者・行政が一体となって継続・深化していくことで、循環型社会の実現を目指します。分別の必要性や資源化についての情報発信を積極的に行い、市民・事業者等の3R^{注)}の活動を広げていきます。

指標

	現状地	目標値
1		
2		
3		
4		

主な事業

地球温暖化対策の推進

現状と課題

- 太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入が進んでいます。景観の保護や災害への備えとのバランスを確保しながら更なる再生可能エネルギーの導入が必要です。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育ち	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

③ 脱炭素社会の推進

地の利を活かした環境に優しい太陽光発電などの再生可能エネルギーへの転換を促進し、脱炭素社会を実現するとともに、市民・事業者・行政が一体となって省エネルギー化に取り組めます。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

多様性を認め合う地域づくりの推進

現状と課題

- 部落問題をはじめ、インターネット上の人権や性的マイノリティの人権等、様々な人権問題に対し、地域や学校、企業において教育・啓発事業を行っていますが、差別意識や偏見が依然としてあるため、継続的な啓発事業への取組みを進めていくことが必要です。
- 今なお、固定的な性別役割分担意識やこれを反映した社会制度や慣行などの課題が残っているため、男女が社会の対等な構成員として個性と能力を十分に発揮し、自らの意思により社会のあらゆる分野で活躍できる機会の確保が必要です。
- 異文化交流事業は、コロナ禍により制限があったものの、オンラインの活用や感染対策を講じた上でのイベントの継続をしています。今後は、アフターコロナに対応した新たなコミュニケーションの場の創出が必要です。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育ち	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

④ 人権尊重・男女共同参画の推進

人権同和に関する教育・啓発の推進や相談体制の充実を図りながら、様々なマイノリティに関する学習・啓発事業などの取組みを推進することにより、一人ひとりの人権が尊重される差別のないまちの実現を目指します。

また、性別等に関わらず、誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会を形成するため、男女共同参画社会やジェンダー平等に対する理解と必要性に関する意識啓発の実施、政策・方針決定過程における女性の参画及びワークライフバランスの実現を推進し、女性活躍の場を広げていきます。

⑤ 多文化共生の推進

国籍や文化の違いを認め合い、誰もが地域社会の一員として活躍できるまちの実現を目指します。交流を通じて、生活スタイルや考え方等、互いの理解を深めながら、誰もが地域社会に参画できる環境づくりを推進します。また、外国籍市民に対する相談対応や適切な情報提供の充実を推進します。

指標

	現状地	目標値
1		
2		
3		
4		

主な事業

協働による地域づくりの推進

現状と課題

- 地区内の区などの市民活動団体が連携する「小学校区単位の地域づくり」がはじまり10年が経過しました。地域づくりの将来像や方向性を示した「地域ビジョン」が策定され、その実現に向かって地域特性に応じた取組みが行われています。
- 高齢化に加え、定年延長等に伴い、区や地域づくり協議会などの役員のなり手・担い手が不足しています。また、コロナ禍により人が集まることが制限され、地域づくりの活動や人材育成の機会が減少しました。今後、アフターコロナを端緒に、より活性化した地域づくりを進めるには、若者や女性など多様な人材が参画する地域づくり活動に向けた人材育成が求められています。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育ち	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

⑥ 多様な主体の連携・協働による地域づくり活動の推進

市民と行政が共に考え、共に地域課題の解決に取り組む「地域協働型」の地域づくりの実現を目指します。そのため、地域づくり協議会や区など多様な市民活動団体が互いに連携・協働し、地域特性や地域資源を活かした活動をしていくための仕組みづくりの検討に加え、コロナ禍で停滞した地域づくり活動に対し人的・財政的支援の充実を図ります。また、5地区の地域づくり協議会と協議し、「地域ビジョン」の検証と見直しを図る取組みを支援します。

⑦ 充実した市民活動のための支援

多様な市民（移住者、若者、女性等）がコミュニティの一員として役割や生きがいを持ち、それぞれの経験や能力を活かし、長く活躍できる市民活動を行政が支援するまちの実現を目指します。多様性を活かした活動を担う人材育成推進のため、地域づくり等の問題意識を深められる学習機会の提供や、市民が感じている地域課題について市と共有できる場を確保します。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

安心して子どもを産み育て、 充実した時間を過ごせる環境づくり

現状と課題

- 核家族化、共働き世帯の増加による家族構成の変化や地域のつながり希薄化など、子どもを育てる家庭環境や子どもを取り巻く社会環境の変化により、子育てに不安感や負担感を抱え、孤立してしまう家庭が増えてきています。
- 子育て・子育ちを包括的に支援する「子どもサポートセンター」を核に妊娠・出産から子どもが大人になるまでの一連の成長ステージにおいて、切れ目なく継続的に子どもと子育て家庭に寄り添う支援体制が整いつつありますが、出産・子育てを家庭だけの問題とせず、地域ぐるみで子育て・子育ちを支えていく体制づくりが必要になっています。
- 子ども達が自ら考え、何をすべきかを決め、やる気をもって取組める保育が必要です。また、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を更に伸ばし、学校生活での学びへ繋ぐため、幼保小接続がより一層求められています。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育ち	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

⑧ 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実

妊娠・出産から子どもが大人になるまでの一連の成長ステージにおいて、子どもが健やかに成長できるよう、支援が必要な家庭に対し早期に関わりをつくるアウトリーチ支援の強化を図るとともに、プッシュ型広報や相談窓口の充実などを通じて妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を強化します。更に、妊産婦及び乳幼児を対象とした健診、教育や相談事業、サービスなど、多様化する子育て家庭の様々なニーズに応えられる体制を構築します。

⑨ 子育て・子育てを共に支える地域づくりの推進

地域全体で子どもたちの健やかな成長を確保していくために、子育て・子育て支援活動を行う地域の多様な団体や企業等と連携し、子どもを見守り・育む担い手の育成を図るとともに、地域の子育て経験者や子育てに意欲のある住民の自主的な活動を支援し、様々な世代の人々が子育て家庭を応援できる環境の整備を推進します。

⑩ より豊かな保育の実践

社会生活で求められる決められたことを進んで行うという自主性や問題解決ができる主体性と自発性を身につけるため、日常の保育に加え、自然の中での体験型保育を取り入れます。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

自分らしく、住み慣れた地域で安心して いきいきと暮らせる環境づくり

【資料1】

現状と課題

- 個別・集団健診の実施と受診勧奨により特定健診等の推進を図っていますが、受診率が伸び悩んでいます。市民が受診しやすいよう、関係機関や関係団体など市民との協働による取り組みが必要です。また、市民が健(検)診を契機として健康づくりに取り組める場を継続的に提供していくことが求められます。
- 定年延長や価値観の多様化等の時代の変化に対応し、高齢者のニーズに合った、通いの場や生きがいとなる活動及び活躍の場を確保していくことが重要です。
- 医療と介護の総合相談窓口が開設されていますが、窓口の更なる周知、相談できる場の拡充や医療・介護・福祉等の多職種における連携が重要です。
また、身寄りや支援の有無による対応の多様化、手続きの複雑化を克服するため、システムを導入し、迅速・適正な支援を行います。
- 市民病院を核として、市内の診療所、歯科診療所、薬局が連携し市民へ医療サービスを提供しています。軽症の傷病は市内で完結するよう、身近にかかりつけ医・かかりつけ薬局を持つことが必要です。また、東御市を含む上小医療圏は医療従事者少数地域であることから、特に救急医療の提供体制を維持するため、市民病院の経営安定化を図りつつ、圏域内の病院及び市町村と連携・協力していくことが求められます。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育て	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

⑪ 生涯を通じた健康増進の推進

「東御市健康づくり宣言」に則り、自らの健康は自らつくることを基本にライフステージに応じた健康づくりに取り組むことで、健康寿命の長いまちを目指します。そのために、地域の健康課題を分析し、各種健（検）診の受診率向上に向けた情報発信を強化し、運動・食生活・心の健康など多方面にわたって、全ての市民が主体的に健康づくりに取り組める場を創出し、誰一人取り残さない健康づくりを推進します。

⑫ 介護予防・高齢者の社会参加の推進

介護予防と高齢者の社会参加の推進により、健康寿命の延伸や生きがいを持って暮らせるまちの実現を目指します。

地区公民館などを拠点として、歩いて通える範囲での取り組みを実施するとともに、市民活動団体等の活動を支援することにより、高齢者の社会参加を推進します。

⑬ 地域包括ケアシステムの深化

介護や医療が必要な状態になっても、高齢者が住み慣れた地域で、その人の能力に応じて自立した生活を送れるまちの実現を目指します。地域包括支援センターが中心となり、介護・医療・福祉に加え、地域との一層の連携により、相談や対応ができる場を充実していくことで地域包括ケアシステムを深化させていきます。

⑭ 地域医療体制の充実

必要な時に必要な医療サービスを受けることができるまちの実現を目指します。市民の身近なかかりつけ医・かかりつけ薬局としての機能が十分に発揮されるよう、市内医療機関の連携を強化するとともに、地域医療構想に基づき、2次医療の圏域内完結を目指すため、圏域内の医療機関及び市町村とも協力していきます。

市民病院は市の中核病院として引き続き経営の効率化及び安定化に努め、持続可能な運営を実現します。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

困難を抱える人への支援や 地域の支え合い体制づくりの推進

現状と課題

- 民生児童委員の訪問活動により、地域と行政の繋がりが深まっています。また、災害時支えあい台帳の作成が多くの区で進んでいます。今後も、声掛けや見守り活動、災害時における支援体制を継続していくことが重要です。
- 障がい手帳の取得者は年々増加しているとともに、経済状況や社会環境などの急激な変化により、障がい者（児）本人や家族が抱える課題やニーズが複雑化・多様化している状況にあります。障がい者（児）が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、障がいを持つ方やその家族の課題やニーズを把握するとともに、各関係機関や地域の方と連携し、インフォーマル^注な支援を含めた包括的な支援体制の充実が求められます。
- 相談家庭の抱える課題は、経済的な課題のみならず、ひとり親、障がい、家庭の養育力低下、地域との関係の希薄化等が複雑に絡んでいます。個々の状況に応じた具体的な支援方法を検討し、重層的な支援を提供するため、庁内外の関係機関との連携や伴走的支援の充実が必要です。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育て	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

⑮ 支え合う地域福祉づくりの推進

地域で暮らす一人ひとりの市民になって、地域の絆を深め、支え合いながら暮らしていかれる地域社会の実現を目指します。地域での声掛けや見守り体制、市と福祉事業者等との連携体制の充実を図ります。また、災害時支えあい台帳の実行性を確保し、ケアマネジャー等の福祉専門職や地域と協力しながら避難行動要支援者の個別避難計画の作成を推進します。

⑯ 障がい者(児)福祉の充実

障がいの有無にかかわらず、人格と個性を尊重し合い、住み慣れた地域で誰もが安心して自分らしく生活することができる地域共生社会の実現を目指します。障がい者(児)の個々の課題やニーズの多様化に対応するため、相談支援体制の充実を図るとともに、各関係機関や地域と連携し、包括的な支援体制の維持と、福祉サービスの提供を推進します。

⑰ ひとり親・生活保護・生活困窮世帯等の自立支援と生活の安定

様々な困難を抱える市民が、生活への不安を解消し、地域で自立した生活を安定して続けていけるまちの実現を目指します。支援対象者の状況やニーズを適切に把握するため、相談体制を充実するとともに、庁内外の各関係機関と連携しながら必要な生活支援や自立支援を展開します。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

夢を持ちたくましく生きる子が育つ環境づくり

現状と課題

- 小中学校における全国学力・学習状況調査では、教科の平均正答率のほか児童生徒の学習に対する興味や関心等の高さにおいて県平均を下回るものがある中、分析の結果をもとに一人ひとりが意識をして取組める授業となるよう、家庭と地域と学校とが連携しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな身体を育み、自己肯定感を上げる魅力的な教育環境を創っていくことが求められます。
- 児童館や放課後児童クラブなど、子ども達の放課後の居場所が確保されています。安全・安心な施設の持続のため、計画的な改修のほか、居場所を運営する人材確保に力を入れることが必要です。子どもに関わる課題が多様化する中で、子どもや家庭に寄り添える居場所を創出し、個に応じた支援や教育が提供できる環境づくりが求められています。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育ち	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

⑱ 確かな学力、豊かな心、健やかな身体を育む教育の推進

児童生徒自らが健やかに育ち、これからの社会で活躍できるよう、確かな学力、豊かな心、健やかな身体を育む教育環境の実現を目指します。また、食育や運動に関し、知識や習慣を身に付けることで健やかな身体を育みます。家庭、地域、学校と連携しながら、子どもたちが希望や夢を持ち、叶えられるよう個性や能力を十分に発揮できる教育環境づくりを推進します。

⑲ 安全・安心な子どもの居場所づくり

子どもに関わる課題が多様化しているなかで、学びの場や居心地の良い場所を確保するために、子どもやその家庭に寄り添い、子どもの居場所を創出し、個に応じた支援や教育が提供できる環境づくりの実現を目指します。

児童館の老朽化に伴い、新たに児童クラブを併設した整備を進めます。また、民間の児童クラブ等に関する情報発信を行います。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

誰もが生涯を通じて学び合い・実践できる環境づくり

現状と課題

- 生涯学習講座は受講者数の低迷・受講者の固定化がある中で、人づくり・つながりづくり・地域づくりを目指す社会教育の意義と役割に立ち返り、講座内容の見直しや生涯学習施設の見直しが求められています
- 文化施設を活用した企画展やコンサート、ワークショップ等により、幅広い世代を対象に文化・芸術振興を推進してきましたが、今後も市民が心豊かな生活を送っていくためには、歴史を大切にし、既存の文化的ストックを活かしながら、新たな文化・芸術の価値を生み出すことが求められます。
- スポーツ施設のオンライン予約システムを導入し施設利用者の利便性が向上しています。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、文化施設・スポーツ施設の利用者数が大幅に減少しています。関係団体等と連携し、多様な切り口での文化芸術振興や、多くの方が運動・スポーツに触れられる機会づくりが必要です。
- 今後も文化財を保存・継承していくためには、文化施設を活用したイベント等の開催により、郷土の歴史文化を周知することで、多くの市民がお祭りや伝統芸能などに関わっていくことが重要です。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育ち	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

⑳ 人づくり、地域づくりにつながる生涯学習の推進

様々な世代が学びを通じて、人づくり・地域づくりの輪をひろげ、地域の活力が創出されていく生涯学習を目指します。多様なニーズに応える学習機会を創出し、まちづくり人材の掘り起こしや育成につなげます。また、地域づくり組織と連携して情報発信をしつつ、公民館活動を推進します。

㉑ 文化・芸術・スポーツの推進

誰もが文化・芸術・運動・スポーツに親しむ環境や機会があるまちの実現を目指します。

文化活動においては、市民ニーズに応じて、地域に伝わる文化に対する理解を深める機会を充実させ、多様な文化・芸術に親しむ環境づくりや関係する人材の育成とともに、他分野との連携と地域づくりへの展開を図ります。スポーツ活動においては、ライフステージに応じた運動・スポーツに触れる機会や環境を充実させるとともに、運動・スポーツ活動を支える人材の確保・育成を推進します。加えて、スポーツツーリズムを推進することで、交流人口・関係人口を増やします。

㉒ 文化財の保存と活用

郷土の歴史文化の周知を図り、地域の大切な財産であるお祭りや伝統行事を教育・まちづくり・観光等の様々な場面に活用し、多くの市民が関わることで保存・継承していくことを目指します。

文化財の保存のため、適切に管理するとともに、幅広く活用していくことを促進します。また、東御市文書館における公開文書目録の登録数を増やし、地域の歴史文化への理解を深められるようにします。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

地域の魅力を高める農業の振興

現状と課題

- 農地中間管理事業の活用などにより、担い手農家への農地の集積が進んでいます。今後は、担い手農家の経営の改善・効率化に向けて、農地の集約化が求められます。また、圃場整備等が実施された優良農地内の遊休荒廃化が散見されることから、これらの農地を復旧して活用する必要があります。
- ワイン用ぶどうの作付面積は拡大し、ワイナリーも確実に増加しています。このワインを基軸として、市内産の農産物や加工品のPRや販路開拓を積極的に行うことで、農産物のみならず東御市のブランド力を高め、農業で稼げる環境を創出していくことが必要です。
- 平成31～令和5年度の期間に、22経営体が新規就農しています。認定農業者については、概ね100経営体前後で推移しています。農業従事者が減少する中で、中核的農家の確保や経営の強化が求められます。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育ち	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

②③ 農地・里山を含む民有林の保全

農業生産の基盤である農地や道水路の保全・管理、治山・治水能力の向上や水源涵養機能の保全及び野生鳥獣の適正な生息域管理を地域と連携しながら推進するまちの実現を目指します。また、農地中間管理機構などを有効活用して、認定農業者をはじめ、地域の多様な担い手農家へ農地を集積し、持続可能な農業・農村の体制構築を推進します。

②④ 東御ブランド力の強化と特産品による地域振興

農業生産を維持・拡大していくため、ワインを基軸として農産物や農産物加工品のブランド力を更に強化することを目指し、様々な媒体等を通じたPRを行うとともに、販路開拓を支援します。また、農産物特産品とこれを用いた6次産業化を発展させて、地域の文化、歴史、景観などの多様な地域資源と融合させ、かつ福祉政策との政策間連携を充実させて、新たな付加価値を創出する事業に取り組みます。

②⑤ 農業の担い手の育成・支援と安定的な農業経営の確立

市内の農業・農村を持続可能なものにするため、次代の多様な担い手が充実しているまちの実現を目指し、新規就農者、農業経営継承者及び認定農業者などを育成・確保し、安定的な農業経営を確立できるよう支援します。農業団体、関係機関と連携し、経営相談窓口の設置や経営基盤強化に向けた支援を充実します。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

暮らしを豊かにする商工業の振興

現状と課題

- 企業の設備投資に対する助成や、先端設備導入による固定資産税の減免などの制度活用により、生産性の向上や労働環境の充実を支援しています。今後、DX推進への対応や事業承継など激しいビジネス環境の変化に対応できるような情報収集と支援が必要です。
- 市と商工会が創設した特定創業支援事業である「創業塾」が、新規起業につながっています。今後も、起業支援を継続しながら、テレワーク施設や空き店舗等の地域資源の利活用につなげていくことが重要です。
- 各商工団体が主体となり季節毎のイベントを企画し、地域住民や訪問者を商店街に呼び込む活性化に向けた取組みを継続的に行っています。観光地やしなの鉄道と連携した集客イベントを充実させ、更なる集客に努めるとともに、空き店舗の活用を進めて行く必要があります。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育ち	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

②6 商工業の育成とにぎわいの創出

労働環境の充実、雇用対策などを支援しながら地域企業が発展し、地域産業が活性化する社会を目指します。地域企業の経営安定のため、事業継承などの支援、必要な資金のあっせん、中小企業向けの経営指導、合同就職面接会における必要な人材の確保などを行います。また、ワーケーションの推進による関係人口増加による就労機会の創出や、DXの推進により労働環境の向上のための支援を行います。

更に市街地に集客をもたらすため、関係団体と連携しながら季節ごとの集客イベントの開催などを行います。

②7 新規起業家への支援

地域経済の拡大や雇用機会の創出による、暮らしの場としての魅力向上と地域経済の拡大のため、市内の新規起業家の増加を目指します。事業者の経営課題を解決する「キャラバン隊」で、起業に対する相談支援を充実します。また、「創業塾」での空き店舗紹介や各種イベントでの活用など情報提供を充実します。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

まちににぎわいをもたらす観光の振興

現状と課題

- コロナ禍の影響を受け、令和2年から観光地への入込客数が大幅に減少したものの、令和4年は増加に転じていますが、国内では回復傾向にあると言われるインバウンドの獲得には結びついておらず対策強化が必要です。また、近年の観光ニーズは、団体型旅行から個人型旅行へと変化したことや非対面・非接触での観光へと移行しています。こうした中、旅行者が好きな場所で観光することができるよう、二次元コードを活用した非対面観光地ガイド動画の作成及び非対面・非接触による市内周遊観光の推進のためe-バイクの導入を行いました。
今後は食・歴史・文化など市内の魅力ある多様な観光資源を繋ぎ合わせることで、年間を通して長期滞在による観光客が訪れる、魅力があふれる観光地形成が課題です。
- (一社)信州とうみ観光協会が、令和4年に観光地域づくり法人(DMO法人)として登録を受けました。今後は、観光地域づくりを推進するため、地域のコーディネーターとなり、観光コンテンツの醸成、ホスピタリティ^{注)}の向上に取組める体制の構築が必要です。
- 観光施設の整備においては、利用者の利便性向上を目的に継続して実施していますが、観光形態や観光ニーズを捉え、魅力の向上、集客につなげていくことが課題です。また、観光地としての認知度が低いことから、より魅力をPRするためにきめ細かな施設情報の発信が必要です。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育て	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

⑳ 地域資源を活用した着地型観光の推進

地域資源を活かした魅力ある観光コンテンツの醸成とそれらの有効活用を図り、新たな観光ニーズに対応した観光者を誘うまちの実現を目指します。地域に息づく暮らしや自然、歴史・文化、食といった固有の観光資源の魅力を最大限に活用した着地型観光を推進します。

着地型観光を推進することで、観光エリアの拡大、長期滞在、リピーターの確保による満足度向上、観光消費額の増加を図り、地域に根ざした観光によるまちの活性化を図ります。

㉑ 観光客受入環境及び観光施設の整備

戦略的な観光振興を図るためには観光客の旅行形態や観光ニーズを的確に把握した上での観光情報提供や観光施設の整備が必要であるため、数値根拠に基づいたデジタルマーケティングやプロモーションを実施していきます。

既存の観光施設の計画的な改修はもとより、観光客のニーズに応じた施設整備や利便性を向上させ、観光地としての高付加価値化を図ります。

効果的な観光案内板の整備や観光情報の多言語化やWi-Fi環境の整備により、国内旅行者だけでなく訪日外国人観光客の集客や利便性の向上を図ります。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

都市インフラの維持・充実

現状と課題

- 歩道設置等の道路整備事業や、舗装・橋梁・道路付属構造物の修繕を行っています。道路整備事業については、地域の要望を取り入れていく必要があります。
- 公共交通の利用者は主に小学生や高齢者で、それ以外の市民の移動手段は自家用車や家族送迎等が中心です。若年層の公共交通への利用転換のほか、運行時間や運行形態の意向を把握・検証し、利用実態やニーズに合った公共交通システムの構築が不可欠です。
- 健全な上下水道事業の運営に向け、設備の見直しや計画的な改築・更新を行っています。一部の施設は老朽化が進んでいるため、対策を行っていく必要があります。
- 市営住宅や公園施設の長寿命化修繕などを継続的に行うとともに、全国的に空家等が増加傾向であり、なかでも適切な管理が行われないまま長期間放置されている管理不全な空家等の対策を進めていく必要があります。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育て	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

③⑩ 安全・快適な道路環境の整備

安全で快適な道路環境の整備を目指します。舗装や橋梁は、重要度・緊急度などを考慮して、計画的に修繕を図ります。道路整備事業については、地域との合意形成を図りながら整備に取り組めます。

③⑪ 公共交通の利便性の向上

豊かでしあわせな市民生活を支える持続可能な公共交通環境の実現を目指します。新しい技術の導入を積極的に検討しながら、見直しを繰り返し、利便性と効率性を高めることで持続可能な公共交通体系の構築を推進していきます。

③⑫ 上下水道の維持・管理

安全・安心な「おいしい水」を届けるとともに、強靱で持続可能な上下水道基盤のあるまちの実現を目指します。安全で災害に強い上下水道の構築に向けた施設の維持・更新を推進します。また、収入と支出の財政バランスを考慮しながら、健全な事業経営を進めます。

③⑬ ゆとりある住環境づくりの推進

自然と人が共生する良質な住環境を享受できるまちの実現を目指します。景観に配慮した適切な開発指導や市営住宅及び公園施設の長寿命化、個人住宅の耐震化への支援を行います。また、空き家について発生の抑制や空き家バンク制度による利活用の促進、管理不全な空家等の改善を推進します。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

災害に強い地域づくりの推進

現状と課題

- 大規模災害による被害を減らすため、訓練や体制づくりが必要ですが、コロナ禍の影響を受け、市民参加型の訓練が充分できていません。防災ラジオの更新を行い情報伝達の強化を図ったことから、今後更に多様な情報伝達手段により、迅速かつ正確に災害情報を伝えるとともに、防災関連情報を積極的に発信することで、市民の防災意識の向上を図る必要があります。特に近年の大規模化・激甚化する様々な災害に対し、従来より行ってきた防災訓練の想定を見直し、被災の際にも速やかに復興できる地域防災力が求められます。
- 大規模な自然災害に対する備えとして、ハードソフトを絡めた安全で安心な地域づくりの推進が求められます。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育て	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

③④ 防災意識の高揚と防災体制の充実

大規模な自然災害に対して十分に備えのある、災害に強いまちの実現を目指します。様々な手段・場面での防災関連情報を発信し、市民の「自助」としての防災意識を高めます。また、ハザードマップなどによる地域の警戒区域の周知や個別避難計画などを活用し、「共助」・「公助」としての防災体制の充実を図ります。

③⑤ 地域消防体制の充実

“自らの地域を自ら守る”持続可能な消防団組織のあるまちの実現を目指します。消防団員の確保のため、市民・事業者・地域に対する啓発活動に取り組むとともに、消防団員の活動環境整備や装備の充実を図ります。

③⑥ 災害に強い情報インフラの強化

大規模な自然災害に対して、被害を最小限に抑え迅速に復旧復興できるまちづくりを目指します。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

暮らしの安全の確保

現状と課題

- 市民の安心・安全な暮らしのため、関係機関との連携や地区防犯活動やパトロール、防犯灯の設置等を実践し、市内での犯罪発生件数の削減を行っています。強盗や住居侵入などの凶悪化する事件を防止するためには、市民への防犯意識の更なる啓発が必要です。
- 市民が安心して生活できる環境を確保するため、消費生活センターの相談支援を行っています。相談員のアドバイスにより相談者自ら解決に取り組んだ件数の割合は、増加傾向にあります。日々、巧妙かつ複雑化している特殊詐欺を防止するために、更なる市民への啓発や相談体制の充実が求められます。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育て	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

③7 地域防犯活動の推進

市民一人ひとりの防犯意識の醸成と、地域ぐるみの防犯活動により、安心・安全に暮らせるまちの実現を目指します。地域主体の防犯パトロールや子どもたちを見守る市民活動を支援します。また、警察などと連携した啓発活動を進め、市民の防犯意識を高めます。

③8 安心な消費生活への支援

特殊詐欺や悪質商法が巧妙化する中で、市民一人ひとりが、安心・安全に消費生活を送れるまちの実現を目指します。子どもたちへの消費者教育、高齢者等の詐欺被害を未然防止するための情報発信、関係機関と連携した相談体制の充実を推進します。

③9 交通安全活動の推進

交通事故のないまちの実現を目指します。警察や交通安全協会、道路管理者、教育委員会等と連携した情報発信や啓発活動を進め、市民の交通安全意識を高めます。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

シティプロモーションの推進

現状と課題

- これまでの歴史・文化・自然に加え、近年はワイン産業の発展や高地トレーニング環境の整備など新たな魅力が創出されるとともに、地域ブランドメッセージ”ほどよく、田舎。とうみ”が徐々に認知されはじめていますが、依然として東御市の魅力度・認知度は低い状態が続いています。地域をはじめ市内企業、各種団体など多くの関係者と連携し、新たな魅力の発掘と市の魅力を域外へ発信する必要があります。
- 市民意識調査では、東御市への愛着を感じている人が全体では約89%と多くの方が愛着を感じていますが、これからの未来を担う10、20代の愛着度は他の年齢層と比較すると低くなっています。若い世代を中心に市のイメージや魅力を認識し共有する機会を創出し、シビックプライド^{注)}の醸成を図る必要があります。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育て	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

④⑩ 地域ブランドの発信

市の魅力度・認知度を向上させるとともに、関係人口を拡大し移住定住の促進につながるよう地域ブランドが確立したまちの実現を目指します。地域そのものの総体的な価値を向上させるために、地域や市内企業、各種関係団体と連携し、戦略的にシティプロモーション事業を展開します。また、効果的かつ効率的に情報発信を行うため、パブリシティ^{注)}を強化するとともに、メディアリレーション^{注)}活動に積極的に取り組みます。

④⑪ シビックプライドの醸成

市民一人ひとりが市の特徴や強みに気づき、地域の魅力を共感することにより、市に対する誇りと愛着を高めることを目指します。市報、ホームページ、SNSなどの情報発信ツールを活用し、市民に「魅せる」情報発信を強化するとともに、タウンミーティングや市内の体験イベント等、市民とともにまちの魅力を再発見していく取組みを推進します。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

移住・定住の促進

現状と課題

- 人口の社会動態では、10代後半から20代前半は転出超過となっているものの、その他の年齢階級では転入超過であり、多くのライフステージにおいて、選ばれるまちとなりつつあります。しかし、市の人口は2005年をピークに減少局面に突入し、今後も人口減少が続くと予想されていることから、若年から子育て世代の移住・定住につながる施策を強化し、人口減少抑制の取り組みが必要です。
- 移住・定住を推進するためには、検討先・候補先として選ばれるために県外に対しての市の知名度向上、具体的な定住を検討するための情報提供と相談体制の構築、定住のための就業先の確保といった、それぞれのフェーズに応じた施策の展開が必要です。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育て	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

④2 U・I・Jターンと定住の促進

移住定住を促進させることで人口減少を抑制し、一定の人口規模が維持されるまちの実現を目指します。積極的な情報発信を通じて東御市の知名度向上を図るとともに、移住検討者が必要とする情報の収集および提供を的確に行い、移住検討者のフェーズに応じたきめ細やかな移住施策を推進します。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

DXによる行政サービスの利便性向上

現状と課題

- 全国的な社会問題である少子化・高齢化、後継者不足に関しては、市にとっても解決すべき重要な課題となっています。これらの解決に向けて、国が提唱するSociety5.0^{注)}の実現やデジタル・トランスフォーメーション（DX）^{注)}への積極的な取組みによる、新たな産業の育成や業務効率化の推進が求められています。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育て	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

④3 DXの推進

いつでも、どこでも、必要な行政窓口にアクセスできるスマートな市役所を実現するため、デジタル技術を活用して行政運営の効率性を高めるとともに、市民の利便性の向上を図ります。また、デジタルに不慣れな市民などが取り残されないよう、デジタルデバインド[※]対策に取組み、誰もがデジタル化の恩恵を受けられる社会の実現を目指します。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業

市民の信頼に応える行財政経営の推進

現状と課題

- 効果的な行政サービス提供に向け、職員の提案制度等を活用した業務の改善を行っています。各政策・施策の効果を高められるよう、計画のPDCAサイクルを適切にまわし、施策の改善や業務の効率化を推進していくことが重要です。
- 様々な広報媒体を活用し、より多くの市民の目に行政情報が触れるよう発信を行っています。一方的な発信とならないよう情報のニーズを把握し、市の伝えたいことと紐づけた広報活動を推進する必要があります。また、声なき市民のニーズを拾い、より多くの声が市政に反映できる仕組みや場づくりを行っていく必要があります。

重点

DX	
ゼロカーボン	
子育て・子育て	

関連計画

市民・企業等への期待

施策の方向性

④④ 効果的で持続可能な行財政経営の推進

限られた財源を効果的かつ効率的に活用する、持続可能な自治体経営を目指します。行政評価制度によるPDCAサイクルを適切にまわし、各政策・施策の効果を高めます。また、財源の確保に努めるとともに、事業の選択と集中による、合理的な財政運営を行います。

④⑤ 市民の声に向き合う広報・広聴活動の充実

市民の声が市政に届き、行政からの適正な広報活動ができるまちの実現を目指します。

声なき市民ニーズを取り込み、より多くの声が市政に反映される広聴活動を推進します。

また、市報やSNSを通じ、市民へ向けた適切な情報発信を行い、信頼される広報活動を推進します。

④⑥ 広域連携による共同事業の促進

広域的な連携による効率の良い行政運営を目指します。広域計画及び定住自立圏の共生ビジョンに基づき、関係自治体との交流や連携、事務の共同処理などを推進します。

指標

		現状地	目標値
1			
2			
3			
4			

主な事業